

1 日 時 平成29年 6月6日 (火) 第2時間目

2 学 級 2年 2組

3 題 材 (単元) 連立方程式の利用

4 本時の授業

(1) 目標 速さの問題を考えよう

(2) 流れ

生徒の学習活動と主な意識の流れ	支援 (◇) と見取りの姿 (◎)
<p>① 本時の課題と流れを確認する。</p>	<p>◇道のり・速さ・時間の関係を確認する。</p>
<p>連立方程式を使って、速さの問題を解決しよう</p>	
<p>②基礎の課題</p> <p>Aさんは10時に家を出発して、1200mはなれた駅に向かった。はじめは毎分50mの速さで歩いていたが、列車に乗り遅れそうになったので、途中から毎分80mの速さで走ったら、駅には10時18分に着いた。 歩いた道のりと走った道のりをそれぞれ求めなさい。</p>	<p>◎本文から読み取った情報を表に整理し、それをもとに、式をつくらうとしている。</p>
<p>③練習問題</p> <p>Bさんはお兄さんとドライブに出かけた。目的地まで高速道路は時速80km、一般道路は時速40kmで走り、全体では3時間かかった。 走った道のりが全部で200kmとすると、高速道路と一般道路はそれぞれ何kmあるか求めなさい。</p>	
<p>④ジャンプの課題</p> <p>周囲の長さが5kmの池がある。この池をAさんとBさん二人が自転車で同時に同じ場所を出発する。反対の方向に回ると7分で出会い、同じ方向に回ると42分でAさんがBさんをちょうど一周追い抜く。 Aさんがこの池を1周するのにかかる時間を求めなさい。</p>	<p>◎基礎の課題の考え方をもとにして、それぞれの数値を整理し、式をつくらうとしている。 ◇数量の関係性から式をつくるのが難しい。その場面で、生徒同士の考えをつなぐようにする。</p>
<p>⑤まとめ</p> <p>「速さ」の問題における、数量の表し方や式の作り方をもう一度確認する。</p>	

(3) 「学び合い」をどこでどう生かし深めていくか

- 基礎の課題・・・読み取った情報を表に整理する場面やそれをもとに式をつくり出す場面で「学び合い」を取り入れる。その後の連立方程式を解いていく過程は個人で解決できると良い。
- ジャンプの課題・・・読み取った情報をもとに数量関係を式に表す場面で「学び合い」が有効だと考えられる。